



# ネットワーク

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けするコーナーです。  
皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：市内永田町一―100 市広報広聴課  
☎ 五―0133 内線二八三三  
締め切りは毎月十五日です。

市長への  
手紙から

## 須津川溪谷の美しい

### 自然を残して

このコーナーは「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、鮫島の斉藤久さんからいただいた「須津川溪谷の美しい自然を残すために」についてです。（「市長への手紙」の用紙は、各公民館などにあります）

#### へ市長への手紙

五月の連休、須津川溪谷を訪ねました。大柵の滝付近は車がいつぱいで、多くの人が河原でバーベキューをしていました。酒を飲み、カラオケを歌っている姿は、美しい溪谷に似合わない光景でした。そして、この人たちの去った後には、ごみが大量に投げ捨てられていたのです。キャンプ場ができ、自動車道が改良されて、須津川溪谷の自



然が身近になったこと自体は、大変結構だと思います。しかし、そ



大柵の滝

のことによってマナーの悪い人や自然の大切さを認識していない人が増加していることも事実です。そこで私はビクターセンターの建設と、ハイキングコースの整備を提言したいのです。ビクターセンターには展示物などを置き、愛鷹山の自然について解説すると同時に、自然保護の重要性を説明する場とします。さらにハイキング

### 整備計画を進めます

#### へ市長の答え

市長への手紙ありがとうございます。ありがとうございました。

市は本年度より、大柵の滝周辺の須津山休養林と勢子辻にある林業センター（研修所）を含めた地域を自然環境の保全や自然教育、レクリエーションの場として利用できるように、調和のとれた整備計画を進める予定です。その中では、ハイキングなども楽しめるように考えたいと思います。

斉藤さんの御提言につきまして、大事な課題を含んでいますので、整備計画を検討する中で参考とさせていただきます。

### 心身障害者の小規模授産所「吉原つくし」の所長

## 野沢新平さん

(中島・67歳)



昭和五十五年、心身障害児(者)に春を伝えるかのように頭を出した小規模授産所吉原つくし。この四月、一つの節目を乗り越えて大きくなり、中央町に新築移転しました。この間、お日さまとなり、風よけとなつて育ててきたのが、所長の野沢新平さんです。  
「人数は多くなる(十人→二十



人)し、環境は変わるして、いろいろ心配でしたが、まあ順調に滑り出して「安心」と穏やかな口調で今の心境を語ります。  
主な作業は、手さげ袋の加工やたこ焼きの箱づくりなど。これから、つくしブランドの和紙人形をつくりたいですね。また、隣には高齢者介護ホームができたので、お年寄りとの交流も…と次の目標を考えています。  
身障の画家として有名な野沢秀典さんのお父さん。岩松には身障者の自立と触れ合いの場となっている「虹の家」を独力で建てるなど、身障者への深い思いやりの持ち主です。